

## 2012年アジア都市景観賞授賞式を開催

11月27日、2012年アジア都市景観賞授賞式が、ヒルトン福岡シーホークホテルで開催されました。

今年は、「住みよいまち・豊かな生活」のテーマのもと、海外は中国・韓国・香港から40名以上、国内は倉敷市や鹿児島市を含む50名以上の、総勢100名以上が出席する中、4カ国・地域から9団体が受賞するなど、授賞式・交流会は盛会のうちに終了しました。

式の冒頭、主催4団体を代表して、国連ハビタット福岡本部上級人間居住専門官深澤良信氏、アジアハビタット協会主席劉興達氏からご挨拶をいただき、続く基調講演では、中国で広く不動産開発を展開するホブソン創展グループ副総裁劉建氏から同グループによる最新の開発状況について、また福岡地所株式会社建設部部長平塚則明氏からは福岡を代表する顔の1つキャナルシティ博多の建設経緯について紹介がありました。

アジアハビタット協会秘書長肖溪氏による選考経過報告の後には、いよいよ表彰です。受賞団体の代表者が順番に登壇すると、それぞれの受賞プロジェクトを紹介する映像が正面のメインスクリーンに次々と映し出され、列席者からはその美しい街並みや自然と調和する景色などに感嘆の声があがりました。引き続き主催4団体代表から表彰状と記念の盾が授与されるシーンになると、会場は大きな拍手に包まれ、また、受賞都市によるプレゼンテーションでは、その特色ある景観形成事業の説明に熱心に聞き入る列席者の姿がありました。

授賞式終了後は、福岡市の山崎副市長による歓迎挨拶から交流会が始まりました。アジア景観デザイン学会の会員によるPRの後、会場後方では受賞都市や景観事業を紹介する展示パネルを囲みながら、「都市」や「景観」という言葉を橋渡し役として、受賞者、列席者がそれぞれ交流を深めました。

